

第37回田原市市民協働まちづくり会議 議事録要旨

1 日時	令和6年3月22日（金）午後3時00分～4時30分
2 場所	302会議室
3 出席者	別紙「出席者名簿」のとおり
4 連絡事項	1 報告事項 （1）令和5年度市民活動支援制度の活用状況について （2）令和6年度市民活動支援制度について （3）市民活動支援センターの運営について （4）市民活動だより VOL.32 発行 2 協議事項 （1）「田原市の市民協働まちづくり方針」修正案について 2 その他 ○意見交換等

※委員の発言に対する回答・意見について

“⇒” で示したものは事務局の回答・意見

“➡” で示したものは他の委員からの回答・意見

会議内容要旨

事務局：会議資料の確認

あいさつ

藤井会長よりあいさつ

1 報告事項

（1）令和5年度市民活動支援制度の活用状況について

○事務局：資料1について説明

《委員からの質疑・意見》

- ・ロータリークラブの図書館記念冊子について、部数が知りたい。
⇒500部出版された。
- ・新規団体とかチャレンジ枠が使われていない要因や、それに対する対策を教えてください。
⇒新しい団体だと補助金を使わない手法で活動されているところもある。また、使われてない補助金については、コロナ禍もあったことからもう1年程様子見ることを考えていたが、概ね半年以内の間に見直しを進め、より使いやすいような形にしていきたいと考えている。
- ・人材養成枠は、昔は市の職員も同行していたが今も内容的には同じようなものなのか。
⇒内容としては異なる。市役所の職員は同行せず、市民活動団体が知識を高めるなどで出張する際の旅費のようなイメージ。市役所の関連で事業を行うためというものではない。
- ・人材養成枠は過去に2回ほど使ったがとても有効活用できた。他自治体より人材養成枠に対して興味を持つ声も聞いた。
- ・枠が使われていないという実情があるので、検討していくことが重要だと思う。

(2) 令和6年度市民活動支援制度について

○事務局：資料2について説明

《委員からの質疑・意見》

特になし

(3) 市民活動支援センターの運営について

○事務局：資料3について説明

《委員からの質疑・意見》

・開設日は年間何日か。相談件数とのバランスはとれているか。

⇒去年度は102日開設。二日に一度くらいのペースで相談があった。

・委託金額のうち、ざっくりと内訳を知りたい。

⇒センター運営の人件費、講座にかかる費用、その他外で活動した際の費用に加え、消耗品等の費用が多少入っての金額となる。

・まちづくり講座の参加者数は。

⇒20人弱。

・相談内容に変化はあるのか。

⇒何年か前はNPO法人の設立に関する相談が・多かったが、最近はない。補助金関係の相談や広報のことなど、気軽な相談内容が増えた。

・活動を考えておられる方は地域に多くいるのか。

⇒切れ目なくそういう話はある、NPO法人みたいな形にはならないかもしれないが、地域に根差した活動をしたいというご相談はある。

(4) 市民活動だより VOL. 32 発行

○事務局：資料4について説明

《委員からの質疑・意見》

特になし

2 協議事項

(1) 「田原市の市民協働まちづくり方針」修正案について

○事務局：資料5-1, 5-2について説明

《委員からの質疑・意見》

特になし

3 その他

○各委員：資料6について説明。

《委員からの質疑・意見》

(資料6について)

・活動しているクラブ数は。

⇒高齢福祉課の方で確認をしたが、令和5年度に市老連に加入しているクラブが43。加入していないク

ラブもあると思うので、実際活動しているクラブはこれ以上あるとは思う。老人クラブと異なり、自治会の名前を使って、集まって出かけた話をしていたりしているところもある。

- ・新城の場合、市老連はなくなって、地域のクラブは残っているようだった。
- ⇒新城の場合、廃止の理由としては合併をして地域が広がって、身動きが難しいというのがあるようで、愛知県内の市老連では初めて廃止、全国でも3例目とのこと。
- ・子供会とか、市としての上の組織がなくなることで何かリスクがあるのか。例えば、市として把握できなくなるとか。防災の観点から、このような活動で大切なのは地域コミュニティの繋がりや備えなのではないかと思うが。
- ⇒子供会は、その上に子供会連絡協議会がある。協議会では個別の子供会でやれないような、もう少し規模の大きな活動をやっているが、参加は任意。中には活動自体に参加しないという形もある。ただ、お互いの子供会の情報交換ができるなどのメリットはあるので、一概になくしていいといえるものではない。市老連については、加入していれば活動に対する補助金があるが、入っていない団体にはそういったものはないし、情報の把握もできない。ただ、防災面としては自治会がやってくれているので、そちらはこれとは関係なしに大丈夫だと思う。役員さんの負担は大きいですが、そういう方もいないと地域活動などで支障が出てくることもあると思うので、できるだけ維持していきたいというのが市の考え方。
- ・過去に婦人会がなくなったときは混乱した記憶がある。青年会も、交流の場として大切だったと思う。
 - ・老人クラブの役員のなり手がいない、負担であるというなかで、今後役員の担い手をしっかりと確保していこうと思えば、負担軽減できるような対策が必要だと思う。対策としてはいかがか。
- ⇒平成30年から5年間で、加入クラブ数は半分以下、会員数も半分以下になった。そんな状況の中で、解散に至らないように、現在は市労連の活動にも市老連に入っていない老人クラブも参加ができるような取り組みを行ったり、休止したクラブを対象に解散理由を聞きながら、どうやって維持していくのかというところを考えている。サロンに切り替えているところもあるので、運営の仕方も考えていく必要がある。定年も延長され、ますます加入年齢が上がっていくと思う。
- ・書類を用意するのが面倒という意見もある。

(その他意見交換)

- ・今日の議題とずれるが、教員負担の軽減の中で令和7年度から小中学校の部活動が民間に移行していく件について、補完するのはどこがやるのか。その取り組みをどうしようかと思う。
- ⇒6年度には市の音楽関係の団体にまずモニターをやっていただき、どういったことが必要なのか実証をしていくということで予定している。そういった中でスポーツの方もどういうふうに進めていくのかご相談をさせていただくかたちとなる。指導者については現に子供たちにスポーツを教えて見られる方だとか、ネットワークを使いながら何とかやっていけるような形を模索している。

(事務連絡)

- ・補助金の報告会、審査会を本日の午後6時から開催するので、お時間ある方はぜひ参加を。
- ・委員の任期がこの3月31日までとなっているので、また来年度、次期の委員さんの推薦をお願いしたい。年度明けたら正式に依頼させていただく。

午後4時30分閉会